



第313号

発行

浄土真宗  
心光寺

奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 品性を高めよう



カット：本多紘子

立春とは名ばかりの厳しい寒波がやって来ました。昨年未から正月にかけては暖かく穏やかな春のようでお寺の庭にも梅の花がちらほらと咲き始めていたのに、突然40年ぶりの大寒波です。急激な気温の変化にびっくりですが、皆様お風邪は大丈夫でしょうか。

寒くなると愚僧のお寺でも、広い本堂でたくさんの灯油をストーブで焚いて行事をします。例年なら燃料代に頭をかかえますが、今年灯油の値段が安く、ホッとしています。お隣の中国経済が投資、生産の不振で景気が減速し、昨年の国内総生産（GDP）が前年比6・9%増えたが政府目標の7%を割り込んでいたため、世界経済に悪影響を与え、原料や原油安となって灯油やガソリンが安いのです。

産油国にとってはオイルマネーが入りにくく、株式市場からオイルマネーが引き揚げられ、世界の株式市場が1月に入ってから続落しています。中国経済が減速すると、原料や原油の供給が減り、世界中が不況になるのかな。不況は嫌だが、灯油は安くして欲しいですね。

1月15日午前1時55分頃、長野県軽井沢町の国道18号碓氷バイパスの入山峠付近で、スキー客39人を乗せ満員状態の大型バスがガードレールを突き破り、道路脇の斜面に転落、大破し、運転手2名を含む男

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

女15名が死亡したニュースには愕然としました。乗客の大半は大学生だったからです。格安のスキーツアーで、14日夜に東京・原宿を出発し長野県北部のスキー場に向かっていた乗客にとって悪夢となつてしまいました。小泉総理のとき、タクシー業者や観光バスの規制緩和があり、他業種の会社が観光バス業に参入し、客を奪い合つて料金が値下げ競争となり、バス事故が極端に増えたようです。大型バスに慣れていない高齢運転手を急遽使い、不幸に繋がったのは犯罪ですね。

「貧すれば鈍す」の諺どおり、日本のバブル経済が失速してからというものの、社会全体に愚劣な犯罪が増えています。目前の生活のため、公金を着服押領したり、銀行やコンビニエンスストアに侵入して強奪事件を起こしたり、簡単に人を殺す。軽く肩が触れた程度でもイライラして人を殴り、説教が長くうるさいからと祖父母や母親まで殺める。ちよつと考えれば、人生を棒に振る割に合わない犯罪である。だが、困窮すると、冷静な思考が吹っ飛んでしまうものなのです。大人の生活に余裕がないから、子供たちもすぐに切れてしまうのかな。

マスコミや世間の言葉を過信せず、人付き合いを過密にせず、過大な自己中心の欲望を棄て、過剰に豊かな暮らしは避けようよ。我が心に「抑制」を利かせるために、心の支柱となる「品性」が最も大切であり、そのために「教養」も必要です。我が身を内から支える品性と教養は、どうすれば身につくのか真剣に学びたいものですね。

『徒然草』で有名な吉田兼好法師は、品性を高めるためには学識が必要だが、学識を得るための知識ではなく、生きた知恵、知性を習得することと書いています。つまり、自分の手柄や名譽のために学識を得たのでは、気品や風格は出てこない。やはり、他者を救い助けるために学識の知を使つてこそ、人格が生まれると述べています。

人や自然を愛する感受性があり、そのために知を用い才を磨き、与えられることよりも、与えることに努力した人は、気品と風格にみちみち、誰からも信頼され安らかに溢れるのです。合掌（奥原 曇龍）

『品性を高めるために学ぼうよ 我が身びいきは地獄へ墮ちる』 どんりゅう



カット：奥原 唯

## ともしび説法

日時・二月 九日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
三月 九日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
場所・倉敷市早高 426 新本堂  
電話 086-420-1311



# 法然上人ものがたり

法然上人は、中国の唐時代の善導大師を偏に尊敬し、こうと思つたらへこたれることなく、たとえ主義主張を異にする人から雑言を浴びせられることがあつても、心を一筋にして、真つ直ぐ進むことを勧め、善導大師の『二河白道の譬え』をもつて論じています。

『二河白道』とは、ある日、千里の道をはるばる西に向かつて歩いてきた旅人がいた。白い道の先に河があり、橋が架かつているが橋の長さはわずか百歩、太さは十五cmばかりであつた。旅人は橋を渡つて向こう岸に行こうとするが、見れば橋の下には火の河と水の河が流れ、左側は炎が燃え盛り、右側は怒濤波打ち、白道の橋まで侵している。一歩あやまれば命はない。しかも後ろを見れば賊や獣が群がり、追いかけてくる。前に向かつても死。止まっても死。引き返しても死。これを三定死と言う。絶体絶命のとき、そのとき後ろから「前に進め、身に危険はない。後ろに戻るな」と声がかかり、前からも「君よ、一心に正しく念じて、ためらわずに来たれ。私は必ず君を守る」という力強い声もたらされた。その声をたよりに旅人は一気に向こう岸までたどり着くことができたと言う諭えである。後方は私たちの住む穢土であり、欲と自己中心の世界を表し、前方は彼岸、理想の世界である浄土を意味しています。

何人の歎染の誘いの声にも耳を傾けず、まっしぐらに浄土の世界を目指せと言うのだ。食ひの欲と、腹立ちの世界に人生を無駄に過ごすのを火の河と水の河に譬え、また群がる賊とは、金儲けや性欲・食欲・遊びの話だけをやる悪友たちのことです。白道とは阿彌陀仏の真の人間に目覚め指す本願という一筋の道のことです。人生には迷うときがいっぱいありますが、正しい師について素直に脇目もふらず前進し、阿彌陀仏の教えにまかせよと法然上人は説いています。合掌(奥原曇龍)



三好さん一族とどんりゅう師

## ともしび法話

立春とは名ばかりの厳しい寒さです。皆様、お元気ででしょうか。今年の正月三日は穏やかで素晴らしい正月でしたね。

お寺の子供たち三人も大きく成長し、大学三年の長女と大学一年の息子と高校二年の次女です。お寺のことも手伝つてくれ、それぞれが精一杯、悩み生活しています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

除夜の鐘しずかに暮れゆく人の世に  
命よ響けごおんのともしび

心豊かに感謝で生きる

倉敷市 山田 孝治

新春の土踏んで狭庭の青菜引く  
都窪郡 早島町 藤原智恵子

倉敷市 早島町 平松 公子

謹賀新年

この二月には古稀の同窓会が開催されます。思えば戦後のベビーブーム時に生まれ多くの仲間との芋洗い教育の中で「貧しいけれど仲良く助け合うことの大切さ」や「戦争は二度としてはならないこと」等を学びました。 早島町 平松 公子

寺の梅一輪一輪花咲かす寒風のなかに希望のともしび 田辺多恵子

## ともしび説法

日時・二月 九日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで  
三月 九日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

四月 十七日(日)・午前十時半から午後四時頃・春の永代経。  
午前・ハンドベル・親父バンド・パンフルート演奏 午後・法要。

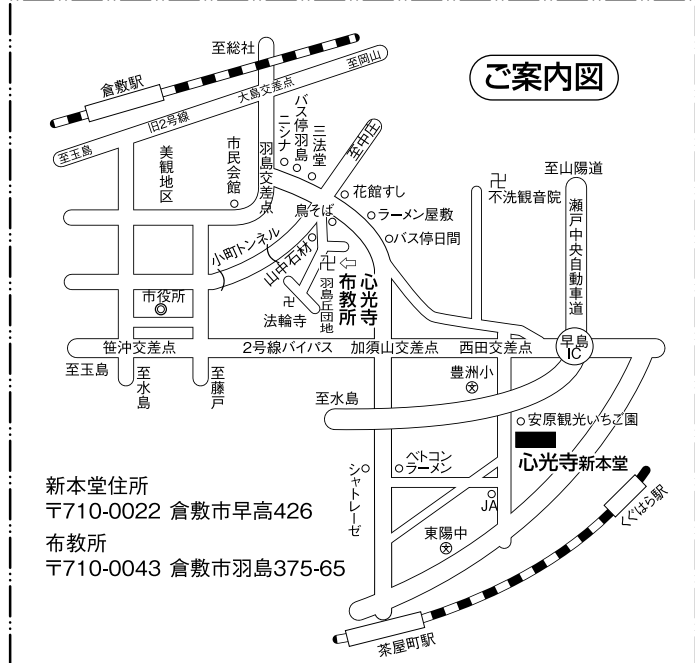
五月 十一日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成18-20年、平成21-23年、平成24-26年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



## つるの詩

寒さに耐えてやがて春が来る  
若さとは木枯らしの暴風のようなだ  
迷い 悩み 苛立ち もがく  
挫折と失敗を繰り返し  
荒波に揉まれ 小舟で漂いながら  
ひとは大きく深く成長する  
あなたにも春はやってくる



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。

- 倉敷市 高橋様 橋本様 松本様 吉沢様 河野様 古谷様 福原様 三千元
- 倉敷市 大庭様 早島町 平松様 四千元 総社市 細川カヨ子様 五千元
- 倉敷市 塩崎一様 太田茂行様 渡辺良二様 尾上裕信様 橋高義夫様 五千元
- 岡山市 藤原力様 佐野十三男様 山下稔様 橋高幸子様 田邊秀央様 一万元



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。  
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「313号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には茶屋町駅に12時35分頃、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。 合掌 総代長 三村健